

建築関連職種の体験授業1



1年生工業技術基礎の授業に、佐藤興業様のご協力があり、塗装のプロの方から指導を受けることができました。

最初に、プロの先生方より、「丁寧な準備ができる人は仕事ができる。」の言葉をきいて、実際に学校の階段を養生をして、塗装しました。



完成時に、プロの先生方より、「自分は汚れてもお施主様におさめるところは美しく。」

また、調色・特殊塗装と一般塗装・海外と日本の発注者によっても仕事に違いがあることも知ることができました。

お忙しいところ、ご指導ありがとうございました。



↑簡単そうに見えた床の養生が、うまくいかず時間がかかりました。塗装後、養生を取り外した時に、養生の大切さが完成時の美しさにつながるということが理解できました。最後に、次の仕事のことを考えて片付け・清掃をする大切さについても学ぶことのできる授業でした。

建築関連職種の体験授業2

1年生工業技術基礎の授業に、東京都職業能力開発協会のご協力があり、型枠施工のマイスターから指導を受けることができました。マイスターの先生から、型枠施工についての説明を受けて、鉄筋コンクリートの建築物をつくるときの、工程や様々な職種についても知ることができました。



↑釘を抜くのも、先生の倍以上時間がかかりました。



型枠を構成しているコンパネとサンギを加工するときを使うのこぎりの扱い方を学びました。先生の黒い線を残して切るのを見せていただいていたのですが、同じようにはできません。のこぎりを持つときの持ち方・引き方、足や体の位置など、注目するところが多くありました。「繰り返しの練習が大切」とアドバイスを受けました。

